

事務事業評価資料

施策名	環境学習・教育の総合的推進			所管部局課名	農政環境部環境創造局環境政策課				
事業名	幼児期の環境学習推進事業			担当者電話番号	環境学習支援係 3398				
事業目的	幼児が環境や生命を大切に思う“こころ”をはぐくみ、学習から実践へとつなげていく「ひょうごの環境学習・教育」の推進								
事業内容	体験型環境学習の実践を支援 対象者：幼稚園・保育所 対象経費：「日常性」「継続性」のある環境学習・教育に取り組む「きっかけ」づくりと継続して取り組むために要する経費（講師謝金、物品購入費等） 限度額：5万円/園・年 等				事業開始年度	平成19年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(26,003 千円) 26,003 千円		(16,773 千円) 16,773 千円		(16,361 千円) 16,361 千円			
	人件費	891 千円	従事人員 0.1人	847 千円	従事人員 0.1人	836 千円	従事人員 0.1人		
	総コスト（+）	26,894 千円	従事人員 0.1人	17,620 千円	従事人員 0.1人	17,197 千円	従事人員 0.1人		
事業の目標	「日常性」「継続性」のある環境学習に取り組む幼稚園・保育所の全県展開				【目標設定理由】 家庭との連携・地域とのつながり大切に環境学習・教育の展開を図るため				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率（%）		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	ひょうごっこグリーンガーデン実践事業実践園参加幼児数	72,000 (累計)	H19 ~ H21	20,644 (1 千円)	28,000 (累計48,644) (1 千円)	28,000 (累計76,644) (1 千円)	28.7%	67.6%	106.5%
評価結果	必要性	・自らの自然体験を通じ、生命の大切さに気づく力を養う環境学習を幼稚園、保育所での年間及び1日の指導（保育）計画に位置づけてもらうことで展開を図っていく。 ・各園が「日常性」「継続性」のある環境学習に取り組む「きっかけ」とするため、体験型環境学習の実践を支援する必要がある。							
	有効性	・幼児期における環境学習を実施することにより、児童期の小学校3年生「環境体験事業」、小学校5年生「自然学校推進事業」が効果的に行われる。							
	効率性	・幼児期の環境学習・教育を推進するために、幼稚園・保育所を主体として環境学習・教育の実施が効率的である。							
	民間・市町との役割分担	・県内の市町立、私立の幼稚園、保育所などでの環境学習を地域と連携							
	受益と負担の適正化	・地域・家庭における環境学習・教育の実践活動を支援するため、県の負担は適正である。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	Ⓢ終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	・幼稚園・保育所が「日常性」「継続性」のある環境学習に取り組む「きっかけ」とするため、体験型環境学習の実践を支援する必要があるため、継続的に実施していくが、事業の展開方法等については、実績や進捗状況・県民のニーズ等を踏まえ、必要に応じて見直していく。								